

ふれあい情報

2023年5月22日(月) 第364号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 野田那智子
 ■連絡先 〒101-0062
 東京都千代田区神田駿河台3-2-11

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp



第5回幹事会を開催

5月17日(水) 連合会館

5月17日、退職者連合は第5回幹事会を開催しました。経過報告、ブロックからの報告に続き、7月に開催予定の第27回定期総会の議案について、この間各県・産別組織から出された意見を踏まえて議論が行われました。また、幹事会に引き続き、労福協、労金、こくみん共済coop、運輸労連(オブ)にご参加いただき、全国高齢者集会の第1回実行委員会を開催しました。

人見会長あいさつ

コロナが2類から5類へ変更されましたが、これではなくなったという訳ではありません。気を付けながら各組織とも活動を進めていきたいと思っています。

ロシアのウクライナへの軍事侵攻は激しさを増しています。さらに人命が失われインフラが破壊されると心配されています。ロシアが不利になれば核兵器の使用も懸念されます。国際社会の中で即時停戦を発信していくことが大事だと思います。

会期末に向け、国会では重要法案が審議されています。例えば「防衛産業強化法案」。これは、防衛産業を育成し、仮に赤字になっても国費をつぎ込んで維持していくというものです。「防衛費確保の特別措置法案」は、5年間で43兆円の防衛費を確保するために、増税も含めて資金を集めようというものです。入管法改正は、多くの反対があります。また、LGBTQ

メーデー中央大会が開催されました



4月29日(土)、代々木公園においてメーデー中央大会が開催されました。人数制限のないメーデーは4年ぶりで、好天にも恵まれ28,500人が参加。退職者連合からも450人が参加しました。

あいさつする芳野友子連合会長。その右は岸田首相。登壇者右端、退連の人見会長。



の理解促進法も自公で合意しましたが、当事者は反対をしています。

一方、岸田首相が言っていた「異次元の少子化対策」はまったく先が見えず、6月の骨太方針で位置づけして来年度以降どうするかという話になっていきます。喫緊の課題を先送りしながら、しっかり議論すべきことは強行していくという岸田政権の在り方には大きな問題があります。防衛費をめぐっては、アメ

リカのタイムという雑誌に「日本の選択」というタイトルで記事が掲載されました。岸田政権がこれまでの平和主義を放棄し、軍事大国化を目指すと書かれています。国是としてきた専守防衛を一時に変える訳ですから、軍事大国を目指すことを世界に明らかにしたということになります。日本の平和と民主主義を守って行くのは、我々にとっても大きな課題です。取り組みを強化していきたいと思えます。

ブロックからの報告

北海道ブロック

会報にあります通り、年明け以降は、統一地方選に現退一致で取り組んできました。お読み取りください。

東北ブロック

6月12日、東北ブロック協議会を4年ぶりに福島で開催し、各県の会長、事務局長に集まっていただくことになりました。福島では初めての取り組みとして、野田事務局長を講師に招いてジェンダー平等推進学習会を開催します。参加者についても男女同数ということを取り組んでいます。

関東ブロック

現役の連合の関東ブロックと合同会議を5月25日、26日に横浜で開催し、ブロックの意見交換を行います。山口補選の候補者になる直前でしたが有田芳生さん

を講師にお願いして統一教会問題の学習会をやりました。大変好評でした。

北陸ブロック

この間、選挙があつて、あまり大きな活動はできていません。新潟、石川が来年30周年になります。記念誌などを考えています。

石川では竹林伐採ボランティアをやっています。今年は43人が集まったのですが、残念ながら裏年でタケノコがありませんでした。グラインドゴルフの方は、181名が集まり、コロナ後の活動を再開することができました。

近畿ブロック

10月19日、毎年行っている近畿ブロックのハイキングを、今年が高野山で開催します。交通の便の関係で人数が少なくなりますが、900人弱で開催します。堺市長選挙ですが、維新の票数は4年前の選挙から増えておらず、基礎票はほぼ五角です。何とか戦いたいと思います。

中国ブロック

補選はワンサイドではなかったと思います。山口では考えられないことです。前段の県議選候補もあり、投票率も低い中、有田さん本人はこんなに楽しい選挙はなかったと語っておられました。

四国ブロック

この間の活動は選挙闘争一色で、特段の取り組み報告はありませんでした。四国ブロックとして6月1日に久々の幹事会を開催します。これを皮切りにあらためて活動を進めていきたいと思っています。

九州ブロック

3月2日に代表者会議を開催し、当面する取り組みを確認。ジェンダー平等を各県一斉にスタートしようという確認もしたので、7月4日の幹事会で取り組み報告と意見交換を行います。福岡は6月15日に香取先生を招いて高齢者集会をやりま

労働者自主福祉運動の強化に向けて

～ 3団体から活動報告を受けました ～

中央労福協、労金、こくみん共済 coop の3者は、全国高齢者集会の実行委員会をともに担うなど、労働者福祉運動を推進する仲間です。今回、3者からの要請を受け、運動の強化に向けてご報告をいただきました。



中央労福協 南部美智代事務局長



中央労福協 遠藤孝一事務局次長



労金協会 塩原洋光上席調査役



こくみん共済 coop 澤田安弘次長

最初に、労福協の南部事務局長から「この間、労働組合、事業団体との連携を図るため3団体共同で労働組合へのトップ(三役)訪問を重ねてきました。昨年11月に退職者連合にも伺い、このような場を設定していただきました」とのご挨拶・趣旨説明があり、その後、それぞれの団体から具体的なとりくみ、すぐに使える資料やソフトなど、多様なコンテンツについて解説が行われました。

意見交換では、会場から「現在流れている共済のテレビ広告についてひといいたい。あの広告には労働者の『ろ』の字もない。おかしいと思う。上司に伝えてほしい」「昔は書記局に行けば相談できる環境があったが、今は難しくなっている。銀行や損保とは違うことがはっきりわかるようなコンテンツが欲しい」など、労働者福祉運動の原点に立ち返った率直な意見が出されました。